

# 同窓会会報

熊本大学医学部保健学科 第2号

<http://www.hs.kumamoto-u.ac.jp/%7Edohsohcai/>



熊本大学医学部保健学科第3回同窓会総会後の記念写真（平成18年8月5日）

目次	同窓会会長あいさつ……………	1
	保健学科長あいさつ……………	1
	各学科同窓会会員あいさつ……………	2
	保健学科教員の紹介……………	4
	卒業生の皆様へ……………	4
	同窓会総会議事録……………	5
	学生理事からの言葉……………	6
	オープンキャンパス……………	7
	同窓会会則・細則……………	8
	同窓会役員……………	9
	編集後記……………	9

## 熊本大学医学部保健学科同窓会の充実を目指して

保健学科同窓会会長 **荒木 不次男**  
(熊本大学医学部保健学科・放射線技術科学専攻)

早いもので、平成16年7月30日の保健学科同窓会設立総会から2年半が経過しました。最初の2年間は十分な同窓会活動ができないまま、あっと言う間に役員改選を迎えましたが、今回も会の運営上保健学科の教員を中心とした構成になっており、引き続き私が会長を引き受けることになりました。

同窓会設立後の初年度は、同窓会会報の創刊号を作成しましたが、十分な資金と同窓会名簿もなく、会報を皆様の手元に送付することができませんでした。平成18年2月ようやく、医療技術短期大学部（専攻科助産学特別専攻を含む）をはじめ、医学部附属看護学校、医学部附属助産婦学校、医学部附属エックス線技師学校、医学部附属診療放射線技師学校、医学部附属衛生検査技師学校、医学部附属臨床検査技師学校を含めた保健学科同窓会会員名簿を作成することが出来ました。昨今の個人情報保護法の影響で、十分に満足できるものには成りませんでした。一応この会員名簿をもとに今回の同窓会会報2号から会員の皆様に発送することが可能になりました。

また、平成19年4月からは教育学部特別看護科の閉課程（平成18年3月）にともない、教育学部特別看護科同窓会も保健学科同窓会に加わることになり、益々大所帯になっていきます。本同窓会をまとめていくのは大変ですが、平成19年度は同窓会の充実を目指して、総会時に特別講演を設け多くの会員の参加を募り、在学生や教職員を含めた会員相互の有益な情報交換会を行いたいと考えております。そして、平成20年3月には保健学科の最初の卒業生がでると同時に大学院の設置が予定されていますので、卒業生の就職状況や保健学科（大学院）の情報を会員の皆様に提供できるように、会報の充実を図って行きたいと考えています。会員の皆様のご協力・ご理解を宜しくお願いいたします。

## 保健学科4年目を迎えて

熊本大学医学部保健学科長 **木原 信市**  
(看護学専攻 臨床看護学講座 教授)

早いもので、平成16年4月から第一回生を迎い入れて以来、平成18年度現在、医学部保健学科3学年、医療技術短期大学部専攻科1学年が日夜勉学に励んでおります。教職員一同、学生の成長を楽しみに、緊張感と期待をもって学生指導に心骨を注いでおります。ご存知のように、近年の急速な少子・高齢化社会の進展、生活習慣病など疾病構造の変化、人々の健康意識の高まりなど医療状況を取り巻く環境の変化に伴い、保健学科は、このような社会的要請に応えるべく、「豊かな人間性、高度な知識はもとより、人間を取り巻く社会環境を包括的にとらえ、様々な人々との連携を確立する能力を備え、国際的に活躍できる感覚を持つ医療専門職や教育者の育成」を基本理念とし、「広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職者及び教育研究者を育成する」ことを目指して教育に邁進している現状にあります。平成19年度には最初の卒業生を輩出いたしますし、初の国家試験が待っております。我々教官といたしましては、国家試験合格率100%を目指して指導していきたくと思っております。

熊本大学の現状といたしまして、全国の国立大学法人大学と同様、極めて厳しい環境のもとに置かれています。社会環境の激変と日本財政の危機的状態の中で、毎年1%の一般管理費の削減（運営費、給与、研究費等）、病院運営交付金の2%減等、本学にとっては毎年4億円削減という甚だ困難な財政条件が設定され、各大学では競争的環境の中、外部資金の獲得の必要性が求められております。また、18才人口の減少に伴って、国公立大学に

においては、受験生にとって「行きたい大学」の構築に迫られております。例えば、公開された情報（教員の質、教育環境、国家試験合格率等）を吟味して、受験生が大学を選ぶ時代になってきます。その一貫として、熊本大学では教員の質の向上を目指して、「学生による授業評価」、「年間の教員個人活動評価の提出」、「自己目標を立ててその到達度に対する評価」等が実施されます。教育環境に関しましては、本館や発生研の大幅な改築が進行中であり、改善が期待されます。また、平成20年度の大学院保健学専攻の設置に向けて準備中でございます。

保健学科同窓会の皆様には、学生の教育環境のよりよい改善や奨学制度の基金設立等のため、今後とも物心両面でのご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後に、熊本大学医学部保健学科同窓会のますますの成長と同窓生の皆様の今後のご発展を心より願って挨拶といたします。



## 各学科同窓会会員あいさつ

### 第3回医学部保健学科同窓会に参加して

熊本大学医学部附属看護学校・助産婦学校同窓会会長  
田中シゲ子（医学部附属看護学校 昭和26年卒）

看護学校の始まりは法制的には明治31年に私立医学校看護学講習科の発足からですが、その後は時代の変遷と共に名称や組織を改め途絶えることなく発展し今年で106年になります。一世紀に及ぶ歴史の節目に、医療技術短期大学部と教育学部特別教科（看護）教員養成課程の統合再編により熊本大学医学部保健学科が設置されたことは大変意義深いことでもあります。私の念願が叶い心から嬉しく思っております。また医学部保健学科同窓会が早々に設立され名簿の作成、発行に取り組みされた荒木会長様始め役員の皆様の情熱に敬服しています。私は昭和26年に附属看護学校を卒業し附属病院で32年間看護業務に従事した後医療技術短期大学部に移り11年間看護学生の教育に携わり平成7年に退職しました。今は高齢社会の一員として過ごしております。今年8月に開催の第3回医学部保健学科同窓会にはじめて出席して感じましたことは役員会のメンバーに看護学専攻の学生が理事として加えられ将来の発展に向けた事業運営がなされていることに感銘を受けました。総会終了後の附属病院の右田看護部長の講演は最先端の高度医療が行われている附属病院において看護のめざす理念、看護の実践への取り組みを知ることができ、学生の教育への関心も高まり患者

の視点に立った質の高い看護の提供の重要性が理解でき有意義だったと思います。情報交換会で看護学専攻の学生さんとの懇談の機会に恵まれ、将来医療従事者として目標を持ち真剣に看護を学ぶ姿勢に接し、久しぶりに若さを取り戻した感じがしました。私は今年4月より附属看護学校・助産婦学校同窓会長に就任しました。80年余の歴史と伝統を受け継ぎ看護師の先輩として誇りをもって会の運営に当たっています。同窓会が発足して早52年になります。同窓生の拠り所として親睦を深め、会の運営が続く限り発展していくことが会長としての責務であり、非常に大事な事だと考えております。医学部保健学科同窓会の設立に伴ない名簿の作成準備、発行に関して会員の中には附属看護学校・助産婦学校の同窓会がなくなってしまうのではとの不安感や戸惑いを感じて事務局への問い合わせも多くあります。このようなことから医学部保健学科同窓会と連携した情報交換が必要ではないかと考えております。最後になりましたが熊本大学医学部保健学科同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

### 同窓会に想う

熊本大学医学部附属病院 医療技術部  
橋田 昌弘（診療放射線技師学校 昭和54年卒）

皆様、こんにちは。熊本大学病院の橋田です。診療放射線技師学校の昭和54年卒業です。

私事ですが、卒業して直ぐに山口大学病院に就職し、山口（宇部市）で24年間過ごし、平成15年4月に縁あって熊本大学病院に移りました。山口県は九州の隣なのですが、熊本大学出身者に会うことは非常に珍しく、多分同窓生は20人にも満たないと思います（想像ですが……）。1級上の村上誠一さん（下関厚生病院）だけには県技師会関係で良くお会いしていたのですが、それ以外ではほとんどなく、学会も九州と中・四国とにブロックが分かれているため、学会でも同窓生の方に会う機会はほとんどない状況でした。そのために、山口時代は「同窓生、同窓会」を意識することなく過ごしていたのが実情です。しかし、熊本に戻ると当然同級生はいるし、身近に同窓生の方はいるし、学会では他県の同級生、同窓生ともお会いできる機会が頻繁にできました。かなり、様変わりした印象で、その上、3科合同の同窓会で議長まですると尚更「同窓生、同窓会」を意識します。本当に、地元と九州外の大きな違いを感じます。また、在校生が実習で来ると、後輩（同窓生）として多少は見てしまいます（本人達は全く思っていないでしょうが……）。

同窓生には年齢や職場などが異なっても、同じ大学出身と言うだけで親近感が湧き、コミュニケーションがとり易くなります。不思議な気がします（年配の方には失礼ですが……）。そして、同窓会の役目は、このコミュニケーションの場を提供することと在校生への支援と思います。同窓会の組織が変わって日が浅いので、まだ、この役目は十分機能していないかもしれません?? この場を借りて役員の方へ意見（要望）を2点。1つは、コミュニケーションのところで、同窓会の懇親会では、多少アルコールが入った方がより親睦が深められるのでは！ 私の個人的な見解かもしれませんが、「飲みニケーション」は大事だと思いますし、在校生とも話しやすくなるのではないのでしょうか。もう1つは、実習病院の同窓生を学生に教えてはどうでしょうか。実習するなかで先輩が判れば質問などが聞きやすくなると思います。

思いつくままに、まとまりのない内容を書きました。すみません。

今後の同窓会のますますの発展をお祈りしています。今後とも、宜しくお願い致します。

## 同窓生は宝物

熊本大学医学部附属病院 医療技術部

吉田 千晶 (臨床検査技師学校 昭和51年卒)

この夏、久しぶりに同窓会に出席しました。看護師・診療放射線技師・臨床検査技師の同窓生に加え、在校生や保健学科の先生方が出席されており、学生時代を回想しながら楽しい時間を過ごすことができました。

熊谷先生から現場での業務について在校生にお話しする機会を頂き、在校生の皆さんの熱意を感じながら病院検査室の業務全般について説明させて頂きました。先輩たちの多くが病院検査室に就職できた時代から、病院検査室への就職は狭き門となり、近年の卒業生は病院検査室以外の様々な業種への進路選択を余儀なくされる時代を迎えています。

病院検査室への就職を希望する皆さんは、厳しい就職戦線を勝ち抜けるようしっかり勉強して下さい。病院検査室の求人は少ないですよ。また、好奇心、探究心の旺盛な学生時代には勉強以外の様々な知識を吸収し、楽しい学生生活を過ごして頂きたいと思います。

大学病院の検査室には、多くの同窓生が在職しています。臨床検査に関する疑問のみならず相談があれば先輩を訪ねてみて下さい。私たちも学生時代には先輩に疑問や悩みを相談し成長してきました。先輩たちが、親切に相談に応じてくれるものと思います。

学会や研修会で会った人が初対面でも同窓生とわかるとそれだけで打ち解け、話が弾みます。特に恩師の先生方の話題は卒業年度を問わず、話が盛り上がります。また、外部の検査室の情報を入手したり、他職種の業務を理解しようとするとき、同窓生の助けを借りることが度々あります。同窓生とは非常に頼りになる存在です。

今回、看護師や診療放射線技師の皆さんと合同の同窓会が発足し、職場では今まで以上に他職種の方に同窓生として気軽に声をかけ合えるようになったと感じています。これからも卒業生の多くが同窓会に出席し、同窓生の交流がますます発展することを願っています。

## 保健学科教員の紹介

### ◆看護学専攻

#### 【基礎看護学講座】

教授：岩本テルヨ、蔦川忠久、森田敏子

講師：木子莉瑛、永田まなみ

助手：有松 操、南家貴美代

#### 【看護教育学講座】

教授：花田妙子

助教授：角田俊治

#### 【臨床看護学講座】

教授：木原信一、宇佐美しおり

助教授：尾山タカ子、田中紀美子、谷口まり子

助手：梅木彰子、柊中智恵子、富川順子、村上美華

#### 【母子看護学講座】

教授：服部新三郎、田島朝信、山内葉月、宮里邦子

助教授：坂梨京子

講師：寺岡祥子

助手：生田まちよ、千場直美、吉田佳代

#### 【地域看護学講座】

教授：上田公代、西阪和子

助教授：東 清巳、永田千鶴

### ◆放射線技術科学専攻

#### 【医用理工学講座】

教授：桂川茂彦、富吉勝美、矢田 粲

助教授：阿部 誠、檜垣 強

助手：船間芳恵、米田哲也

#### 【医用画像学講座】

教授：松本政典、荒木不次男、尾道三一、富口静二  
佛坂博正

助教授：島村正道、吉田日出輝

助手：肥合康弘

### ◆検査技術科学専攻

#### 【構造機能解析学講座】

教授：石丸靖二、受島敦美、二科安三、羽山富雄

講師：伊藤雅浩

助手：橋本弘司

#### 【生体情報解析学講座】

教授：柳瀬純男、乾 誠治、原田幸一、三森龍之

助教授：石井俊徳、奥宮敏可

講師：宮山幸彦

助手：熊谷エツ子、森 信子



## 卒業生の皆様へ

### 生涯メールサービスを提供します。

熊本大学では、平成18年度から、卒業生の皆様と大学との直接の情報交換や連携を図っていくため、熊本大学生涯メールサービスを開始いたしました。

これは、卒業生と大学の直接の情報交換や連携を目的とする、卒業生が無償で利用できるメール転送サービスです。卒業生にお渡しした生涯メールアドレスを利用し、大学からメールマガジン等による定期的な情報提供、卒業生から大学への意見・提言、また卒業生同士の交流等を図るもので、皆様が通常使用中のメールアドレスへ、メールを転送させることができます。

ひとたび、生涯メールアドレスを取得しておけば、それ以外のメールアドレスが変わっても、本ホームページからログインし転送先メールアドレスの変更を行うだけで、その都度メールアドレスの変更を追加する必要がなく、生涯、本サービスを通じて卒業生等と連絡をとることが可能となります。

つきましては、下記のWebページをアクセスいただきますと、メールサービスに必要な手続きを記載しております。どうぞご利用していただきますようお願いいたします。

記

熊本大学生涯メールサービスのホームページURL <http://www.kumadai.jp/>

熊本大学 (096-342-3129)

## 第3回熊本大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成18年8月5日(土) 14:00~15:00  
 場 所 熊本大学医学部楷樹会館研修室(2F)  
 出席者数 106名  
 議 長 幸 史子(熊本大学医学部附属病院看護部)  
 議事録名人 石原隆一(熊本市医師会検査センター)  
 前田 浩(熊本市立熊本市市民病院中央検査部)

### 〈総会式次第〉

開会の辞

同窓会会長挨拶

保健学科長挨拶

議長選出

議事

1. 平成17年度事業報告
2. 平成17年度決算報告  
     会計監査報告
3. 平成18年度事業計画(案)について
4. 平成18年度予算(案)について
5. 役員改選
6. その他  
     教育学部特別看護科同窓会の保健学科同窓会  
     への加入(平成19年4月)について

閉会の辞

### 〈報告〉

14時、前田副会長より開会が告げられ、第3回同窓会総会が開会された。

最初に、荒木会長が挨拶を行った。続

いて木原保健学科長のご挨拶が行われた。

総会議長を選出後、議事に従い6項目の議案審議を行った。

#### 1. 平成17年度事業報告について

荒木会長より、平成17年度事業、同窓会会員名簿作成、保健学科のオープンキャンパスへの支援および保健学科ホームページへの同窓会ホームページのリンク等について報告があった。



総会

#### 2. 平成17年度決算報告並びに会計監査報告

終中会計幹事より、17年度の会計について決算報告があった。収入において、保健学科入学生の会費納入が当初予算より少ないとの報告があった。

また、田中監査より7月13日に会計監査を行い、適正に処理されている旨の会計監査報告があった。

#### 〈質疑〉

平成17年度の事業報告、平成17年度会計決算報告は、出席者の賛成多数で承認された。

#### 3. 平成18年度事業計画(案)について

荒木会長より、18年度事業計画(案)について説明があった。今年度は昨年度行った事業の継続とともに、第2号となる同窓会会報の発刊について説明があった。

#### 4. 平成18年度予算(案)について

平成18年度予算(案)について終中会計幹事より、説明があった。

#### 〈質疑〉

出席者より、「在校生の教育支援や同窓会独自の新しい事業の企画を進めそれに予算を使ったらどうか」との意見があり、それに対して、荒木会長より学術講演会等の新しい事業を是非企画していきたいとの答弁があった。また同窓会の活動資金として寄付金の協力依頼があった。



情報交換会

その後、承認を採り、平成18年度の事業計画案、平成18年度予算案は、出席者の賛成多数で承認された。

#### 5. 役員改選

出席者の中に会長への立候補者が無かったので、執行部より診療放射線学科の現会長の荒木氏の会長留任が提案され、出席者の賛成多数で承認された。

続いて、荒木会長より短大S57卒臨床検査技術学科前田副会長の留任、医学部附属看護学校S42卒の田中氏の副会長新任および、幹事、理事等の役員が推薦され、出席者の賛成多数で承認された。

## 6. その他

熊本大学教育学部特別看護科同窓会の保健学科同窓会への加入について、荒木会長より説明があり、平成19年4月の加入に向け教育学部特別看護科同窓会と保健学科同窓会とで協議していくことを、出席者の賛成多数で承認された。

以上で議案審議がすべて終了し、議長は「保健学科同窓会の発展の為、会員一人ひとり協力していきましょう」との挨拶後、降壇した。

最後に、前田副会長の閉会の辞により、15時に終了し散会した。

尚、この後、熊本大学医学部附属病院看護部長右田香魚子氏による講演会と、情報交換会（茶話会）が行われた。

平成18年8月5日

議事録署名人 石原 隆一、前田 浩



講演会

## 学生理事からの言葉

### ありがとう

保健学科同窓会理事 看護学専攻  
2年 有馬 勝洋

保健学科に入学して、はや2年がたちました。大学生活にも慣れ、勉強に部活に、毎日楽しい日々を過ごしています。

ところで、みなさんは両親に感謝の気持ちを伝えたことがありますか？ もちろん、何かしてもらったことなどについては「ありがとう」と言ったことはあると思います。しかし、ここで私が言う感謝の気持ちは「僕、私を産んでくれて、ありがとう。ここまで大きく育ててくれて、ありがとう」という気持ちです。

一人暮らしをしていると、思いにふけることがよくあります。そんな時に度々考えることは、両親の存在の大きさです。大学に入学したての頃に風邪をひいてしまい、苦しんでいた時に、実家から心配して看病しに来てくれた母。実家に帰ると、いつも暖かく迎えてくれる父。小さい頃から今まで、迷惑をかけてばかりの私を、両親は大きな愛情を持って育ててくれました。そして今になって、やっと私にも子どもを育てることの大変さが少しずつ分かるようになり、両親に対する感謝の気持ちをもてるようになりました。

私は、年が明けると成人式を迎えます。普段、感謝の気持ちなんて言えないような私だからこそ、成人式の時に、両親、そして親戚の人に、「私を産んでくれて、ありがとう。今まで育ててくれて、ありがとう。そして、

これからもよろしくお願いします」と感謝の気持ちを伝えようと思います。

みなさんは「ありがとう」と言ったことがありますか？ まだの人も、もう伝えたことがある人も、今日でも明日でも、言葉で言えないなら手紙でも、「ありがとう」と伝えて下さい。今、みなさんが生きているのも、楽しく大学生活を送っているのも、みなさんの親が大変な苦勞をしてここまで育ててくれたおかげです。それに対し感謝の気持ちが生まれれば、たった4年しかない大学生活、1秒だって無駄にしたくない、毎日楽しく、充実したものにしようと思えるはずですよ。私も、残りの大学生活、この一度しかない大学生活を100%満喫できるよう、日々努力しようと思います。

### 3年生になって

保健学科同窓会理事 放射線技術科学専攻  
3年 池田真菜美

つい最近熊本大学保健学科に入学したつもりが、あっという間に3年生になってしまいました。右も左も分からない状態だった私たちも、いまや最高学年です。後輩たちに勉強の仕方をアドバイスする（過去問をわたす）立場です。3年生ともなると、先生の特徴・授業スタイル・試験問題の出し方もある程度つかめてきました。

3年生になって変わったことといえば、黒髪キャンパスでの教養教育がなくなり、授業内容も専門一色になったということです。授業、試験、実験、レポート、そし

てレポート再提出。3年生になってこんな毎日が続いています。1日が30時間くらいあればいいのに……と本当に思います。でも、このような環境の中で、皆で協力し、共に3年前期を乗り越えたおかげで、1,2年の頃よりもクラスの仲間との結束が深まりました。先生方との関係も深まったように感じます。

また、3年生になって、やっと今までに習った内容がバラバラだったものからつながってきて、授業がおもしろくなったし、放射線技術科学という学問に対する興味と将来の仕事に対する意欲があきらかに向上しました。これは私だけではないと思います。クラス全体の勉強に対する雰囲気も明らかに変わりました。先日は「病院の装置を説明つきで見学できるらしいけどどうする？」という私の問いかけに対して、なんとクラス全員が「行きたい！」と返答しました。衝撃です。一年前では考えられない現象です。興味を持って勉強できるって、すごく良いことだと思います。みんな得意的に頑張ろう!!

っていう良い雰囲気がこのままつづけば、国試も全員合格できるのではないのでしょうか。仕事を始めてからも、色々なことに興味を持ち続け、勉強し続けなければならないと思うので、3年生になってからのこの変化は私たちの将来にとっても、大きな変化になるはずですよ。

残り1年半、大学生活も半分を切ってしまいました。勉強も遊びもバイトも大学のときしかできないことがたくさんあると思います。残りの大学生活、皆と一緒に有意義に過ごしていきたいです。

## 目標に向かって

保健学科同窓会理事 検査技術科学専攻  
2年 迫村 綾子

大学生活という新たな第一歩を踏み出すことへの大きな期待で胸を弾ませた入学式から一年半の月日が過ぎ去りました。

入学したての頃は、教養教育で受講する科目を自分で選択し、掲示板を見て自分に必要な情報を得るなど初めてのことばかりで、自己責任を痛感し、期待と同じくらい不安もありました。また、知らない土地での一人暮らしが不安を増大しました。しかし、周りの友人が親身に一人暮らしの悩みを聞いてくれたり、講義で解らない所を教えてくれることで、不安は少しずつ薄らいでいきました。

一年生の時には、ただ講義を聞くのが精一杯で自分で考えることはほとんどありませんでしたが、最近では大

学生活にも慣れ、少しずつ余裕が出てきました。病院の現状や医療従事者としてのあり方を講義中で聞くことで、仕事の厳しさや責任の重さを日々実感し、人の「いのち」がどれほど大切で尊いものかということ考えるようになりました。

先生や友人などたくさんの人々と出会い、勉強だけでなく、人に対する思いやり、夢に対する考え方などさまざまなことを学ぶことが出来ました。これからも、多くのことを学び、自分をさらに磨いていきたいと思えます。そして、立ち止まりながらも着実に未来へのステップを踏み始めていきたいと思えます。

## オープンキャンパス

医学部保健学科のオープンキャンパスは、毎年参加希望者が大変多いため、平成18年度も午前・午後の2回に分けて行われた（参加者数は表1）。医学部長挨拶、保健学科長挨拶、専攻別概要説明・入試説明の後、各専攻が工夫を凝らし、実験・実習室を公開した。また、平成18年度入学者選抜試験は、前期日程、後期日程、推薦入学、社会人特別選抜（看護・検査のみ）が実施され、受験者数は表2の通りであった。

表1 平成18年度オープンキャンパス参加者数

高校生等	833人
保護者	10人
合計	843人

表2 平成18年度保健学科入学試験受験者数

	前期日程	後期日程	推薦入学		社会人
看護学専攻	114人	24人	a:34人	b:1人	8人
放射線技術科学専攻	77人	23人	19人		
検査技術科学専攻	50人	24人	27人		4人

看護学専攻推薦入学の「b」の対象者は、高等学校の衛生看護（科）に関する課程の卒業見込みの者





## 六 その他の必要と認める事項

- 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
- 第17条 会長は必要と認めるとき、臨時総会を開催することができる。
- 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。
- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。
- 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。
- 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
- 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
- 第24条 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
- 第25条 理事会は、会長が召集し、議長は会長がこれにあたる。
- 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
- 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

## 第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金、その他の収入を持って充てる。
- 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

## 附 則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

4

## 熊本大学医学部保健学科同窓会会計細則

- 1 同窓会費は1万円とし、本学科入学時に一括納入することを原則とする。
- 2 本学科同窓会費1万円は、同窓会運営費として使用する。ただし、この枠を超えて使用する必要が生じたときは、同窓会理事会の承認を必要とする。
- 3 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
- 4 幹事代表者名で金融機関に同窓会の口座を設け、担当幹事が通帳・印鑑を管理する。
- 5 同窓会費の徴収は、入学時に行い、徴収後は速やかに同窓会費支払者名簿を作成する。
- 6 会計担当幹事は、会計年度終了時に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
- 7 本細則の改正は、同窓会総会で行う。

## 附 則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

## 同窓会役員

- 名誉会長：木原 信市（熊本大学医学部保健学科長）
- 会 長：荒木不次男（熊大保健学科、診療放射線S56卒）
- 副 会 長：前田 浩（熊本市民病院、衛生技術S57卒）、田中紀美子（熊大保健学科、医学部附属看護学校S42卒）
- 幹 事：看護3名  
 榎本和代（熊大医学部附属病院）、永田まなみ（熊大保健学科）、寺岡祥子（熊大保健学科）
- 検査2名  
 熊谷エツ子（熊大保健学科）、石原隆一（熊本市医師会）
- 放射1名  
 肥合康弘（熊大保健学科）
- 会計幹事：終中智恵子（熊大保健学科）、千場直美（熊大保健学科）
- 理 事：看護6名  
 尾山タカ子（熊大保健学科）、宮里邦子（熊大保健学科）、本 尚美（熊大医学部附属病院）、幸 史子（熊大医学部附属病院）、高木大地（在学生）、有馬勝洋（在学生）
- 検査3名  
 中村直子（熊大医学部附属動物実験施設）
- 春田昭一（済生会熊本病院）、迫村紘子（在学生）
- 放射3名  
 勝田 昇（熊大医学部附属病院）、船間芳憲（熊大保健学科）、池田真菜美（在学生）
- 監 査：沢田道子（熊大医学部附属病院、看護）、植川利之（熊本市民病院、放射線）

## 編 集 後 記

平成18年8月5日に第3回保健学科同窓会総会ならびに情報交換会（茶話会）が楷樹会館で開催され、たくさんの卒業生、在校生ならびに教員の参加で盛会に終わりました。より多くの卒業生に参加していただくために、第4回以降の総会ならびに情報交換会を8月の第1土曜日に開催する予定です。熊本大学保健学科同窓会のホームページ（<http://www.hs.kumamoto-u.ac.jp/%7Edohsohkai/>）や新聞などのタウンページを利用して総会等のご案内をしていきたいと考えています。

保健学科同窓会を魅力的な実りある会にするためには、卒業生と在校生の共同作業が必要です。私たちの同窓会が、人材育成支援組織ならびに卒業生の心の拠り所となるように会員の皆様とともに発展させていきたいと考えています。

第4回同窓会総会ならびに情報交換会（2007.8.4）で、たくさんの同窓生とお会いできることを楽しみにしています。

保健学科同窓会幹事 熊谷エツ子  
 （衛生検査技師学校 1期生）